

学習場面に応じたICT活用の校内研修 「タブレット活用研修会」

B:校内研修Ⅱ型(講師設定型の研修)

こんな先生方の姿が生まれました!

- 先生方の困り感から研修内容が設定されていたため、操作方法に関する質問や活用方法に関するアイデアがどんどん出てきた。
- それぞれの授業において、積極的なタブレットの活用につながった。

研修主事のアンケートをもとにした「タブレット活用研修会」

iPad アプリの活用

- ・研修主事のタブレットの活用状況アンケートの結果をもとに、まだ授業に活用していないアプリについて、委託業者に依頼し研修を行った。



研修のポイント

- 教員が知りたいことやできるようになりたいことについて、委託業者からの説明を聞くだけでなく、実際に操作したり、質問したりする時間を十分にとるようにする。

学習場面に応じたICT活用

公開授業の際に、ICT活用事例のA・B・Cの分類を共通理解

- ・「A：一斉学習」「B：個別学習」「C：協働学習」の場面におけるICT活用の在り方を、分類・整理し、授業内での活用を意識できるようにした。

※ICT活用に関しては「ICTを活用した指導方法」(文部科学省)の活用分類を参考にしている。

公開授業におけるICT活用場面

「A:一斉学習」「B:個別学習」「C:協働学習」

A1…○電子黒板を活用し、問題や場面絵、デジタル教科書資料を提示している。

B1…○「デジタル教科書」「NEW!GIFU ウェブラーニング」を練習問題に活用し、個別に応じて習熟を図るようにする。教師は机間指導しながら、取り組む児童の姿を励ましたり、価値付けたりする。その際、解答データのログを残すことで、本時の定着度を把握したり、今後の個別学習に活用したりする。

○児童の口形や舌の使い方、視線、姿勢などをタブレットで撮影し、様子の変容を捉えることに活用する。

B2…○リコーダーの演奏の様子をタブレットで撮影し、今後比較するために記録に残す。

○ウェブ上の地図を用いて、地図上の距離、縮尺、実際の距離を確認する。

○狂言特有の言葉や言い回しについて、現代語訳などをタブレットを活用して調査する。

B4…○自分の好きな色の紹介のために、プレゼンテーションを制作する。

C1…○電子黒板やバイシンククラスルーム、書画カメラを活用し、提示された画面で考えを説明したり、仲間の考えと比較したりするなど、交流場面で活用する。

○仲間と交流する際に、タブレットのスライド機能を用いて、分かりやすく説明する。



取組のポイント

- 研修等で学んだことを基に、ICTを活用する児童の姿を具体的に想像して学習内容を考える。
- ICT活用の場面を明確にすることで、その活用の意図も明確にする。